

特集

図書館で文化活動 … 2

「しまね文学散歩」の紹介

図書館の上手な使い方

読んでみよう! バリアフリー・外国語の本 …… 4

あなたのまちの図書館めぐり

雲南市立木次図書館 …………… 6

江津市図書館桜江分館 …………… 7

大田市立温泉津図書館 …………… 7

2018年に建築50周年を迎えます …………… 8



との縁結び

島根県立図書館報

<http://www.library.pref.shimane.lg.jp>

図書館だより

2018

第208号

2018年3月23日発行



県立図書館 2階郷土資料室からの眺め

島根県立図書館イメージキャラクター
ぶつくまくとしおりちゃん

図書館で文化活動

「しまね文学散歩」の紹介



図書館はさまざまな人々が集まる場所であり、地域の文化活動の拠点になっています。当館では文化活動として定例文化講座を開催しています。今回はそのうちのひとつ「しまね文学散歩」を紹介します。この講座では、島根に生まれた文人や島根を訪れた文人たちによる島根に関する作品を読み、文学から山陰の風土に接していきます。

図書館での文化活動に参加してみませんか。

「しまね文学散歩」の講師は、寺本喜徳先生（島根県立大学短期大学部名誉教授）です。以下のような著作があります。

『島根県近代文芸史稿』

山陰文芸協会発行

『山陰文芸襍記』

島根県立島根女子短期大学国語国文学会発行

『しまね近代文学読本』

島根県立島根女子短期大学国語国文学会発行

『ふるさと文学館 第38巻 島根』

ぎょうせい発行



寺本先生の主な著作



平成11年4月に始まったこの講座は、平成28年2月には200回を数え、現在も継続されています。

左の写真は、平成30年1月に行われた第221回の様子。テーマは「石見路の自然とひと（29）大町桂月「断魚溪」を読む—美文集『一蓑一笠』に収めた石見の自然探訪—」でした。『一蓑一笠』は大町桂月による明治34年の作品です。



200回を記念して、平成28年2月に図書館展示を行いました。第101回から200回までにとりあげられた作品を集めました。

第1回から第200回までの講座の内容及びとりあげた作品のリストがあります。

Web 「当館HP」→「郷土資料」→「郷土資料テーマ別リスト」

または、郷土資料室でも配布しています。

作品や資料は郷土資料室にあります。お問い合わせも受け付けています。郷土資料室をどうぞご利用ください。

郷土資料室では、島根の文学に関する資料を集めています。特に小泉八雲に関する資料は「ヘルン文庫」として特別収集しています。その他、森鷗外、柿本人麻呂、島村抱月、永井隆、花森安治など、島根出身の人物、島根を訪れた文人などの作品があります。

また現在活躍している著名作家の作品のほか、島根に暮らす個人・団体の作品(小説、詩、短歌、俳句など)もあります。



平成29年度に実施した文化講座一覧

・「出雲国風土記」を読む会

藤岡大拙先生（島根県立大学短期大学部名誉教授）

・古文書を読む会（基礎講座）

岡宏三先生（島根県立古代出雲歴史博物館専門学芸員）

・古文書を読む会（古文書に歴史をみる）

藤岡大拙先生（島根県立大学短期大学部名誉教授）

・しまね文学散歩

寺本喜徳先生（島根県立大学短期大学部名誉教授）

・万葉集を読む

川島芙美子先生（山陰万葉を歩く会会長）

来年度予告

平成30年度の定例文化講座は、3月1日から募集を開始しています。くわしくは、館内配布ちらし、当館HPでご確認ください。

<問合せ先>郷土資料室0852-22-5742

当館での文化活動を、ぜひお楽しみください。

読んでみよう! バリアフリ

県立図書館に、バリアフリー図書・外国語資料のコーナーがあることを知っていますか？

場所は、1階ホール。来館すれば必ず通る場所なのに、意外に気づいていない方も多いバリアフリー図書・外国語資料コーナーに、どんな種類の本があるか、おすすめの本などを紹介していきます。

バリアフリー図書・外国語資料コーナーはどこにあるの？

図書館に入ってまず目につくのが、パネルや展示ケースの並んだホール展示です。その展示スペースの後ろに、バリアフリー図書・外国語資料コーナーがあります。



バリアフリー図書コーナーにある大活字本ってどんな本？

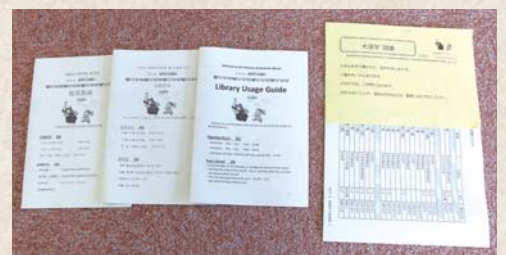
大活字本とは、普通の活字の2～3倍の大きさの活字を用いた本です。行間も広くとってあるほか、黒地に白い文字で印刷された本や、リングノート状になっていて開きやすい本もあります。

大活字本の棚には、県立図書館で所蔵している大活字本のリストもあります。また、点字図書も置かれています。



外国語資料ってどんな言語の本があるの？

外国語資料は、英語・中国語・韓国語を中心に、ポルトガル語・ロシア語・ドイツ語など、色々な言語の本があります。ジャンルも、読み物・絵本をはじめ、色々な分野の本をそろえています。



その他にはどんなものが置いてあるの？

その他には、英語・中国語・韓国語・ロシア語で書かれた図書館案内や、各言語の方のための日本語学習の本が置いてあります。

※大活字本・外国語資料のリスト、外国語の図書館案内は、ホームページで公開しています。

他にもある! バリアフリー図書・外国語資料

子ども室には、『大きな文字の青い鳥文庫』コーナーがあります。子どもたちに大人気のシリーズや、長く読みつがれた名作など、色々な本がそろっていて、子どもから大人まで利用されています。

その隣には、点字絵本・点字雑誌・マルチメディアデージー図書などがあります。



一・外国語の本

図書館の上手な使い方

どんな本が人気？ バリアフリー図書・外国語資料

バリアフリー図書・外国語資料で人気のある本を紹介します。(2016/1/1～2017/12/12貸出統計より)

一般：大活字本

一番人気！

『九十歳。何がめでたい』の作者、佐藤愛子さんの心霊ノンフィクションです。

- 『私の遺言 上下』(佐藤愛子)
- 『鬼平犯科帳 1 全3冊』(池波正太郎)
- 『告白 上下』(湊かなえ)
- 『本を読む女 全3冊』(林真理子)
- 『手紙 上下』(東野圭吾)
- 『隠花の飾り 上下』(松本清張)
- 『坊っちゃん 全2冊』(夏目漱石)
- 『武士(おとこ)の紋章 全3冊』(池波正太郎)

子ども：大活字本

一番人気！

四人のヒロインの出てくるシリーズ。女の子に特に人気があります。

- 『泣いちゃいそうだよ』シリーズ(小林深雪)
- 『黒魔女さんが通る!!』シリーズ(石崎洋司)
- 『若草物語 上下』(オルコット)
- 『ぼくが探偵だった夏 上下』(内田康夫)
- 『耳なし芳一・雪女 上下』(小泉八雲)
- 『命をつなげ!ドクターヘリ』(岩貞るみこ)
- 『赤毛のアン』シリーズ(L.M.モンゴメリ)
- 『ハリィにおまかせ! 上下』(木下繁)
- 『ゾウのいない動物園』(岩貞るみこ)

一般：外国語図書

一番人気！

ノーベル賞作家カズオ・イシグロさんの邦訳『わたしたちが孤児だったころ』です。

- 『When we were orphans』(Kazuo Ishiguro)
- 『Harry Potter and the philosopher's stone』(J.K.Rowling)
- 『The talented Mr.Ripley ; Ripley under ground ; Ripley's game』(Patricia Highsmith)
- 『Anne of Green Gables』(L.M.Montgomery)
- 『The cook's book of ingredients』
- 『博士的愛情算式』(小川洋子)
- 『沈黙』(遠藤周作)

子ども：外国語図書

一番人気！

がまくんとかえるくんでてくる『ふたりはともだち』のシリーズです。

- 『Frog and Toad』シリーズ(Arnold Lobel)
- 『The little house』(Virginia Lee Burton)
- 『Today is monday』(pictures by Eric Carle)
- 『First 100 animals board book』
- 『I'm not cute!』(Jonathan Allen)
- 『Bam and Kero's sunday』(Yuka Shimada)
- 『Curious George』(H.A.Rey)
- 『Color zoo』(Lois Ehlert)
- 『The story of Ferdinand』(Munro Leaf)



また、子ども室には英語の大型絵本もあります。
英語の大型絵本は、団体への読み聞かせのために特別貸出ができます。
特別貸出は、5冊まで、1週間の貸出となっています。
県立図書館ホームページ内にある「こどもしつのページ」に、英語の大型絵本のリストがあります。本を選ぶ際の参考にしてください。
読み聞かせの会のほかにも、英語の授業などで、ぜひご利用ください。

あなたのまちの図書館めぐり

島根県立図書館の職員は、県内市町村の図書館などを各館年2～3回訪問して、スタッフの方に直接お会いして情報交換を行っています。その地域の特徴や暮らす人々を知り、島根県の図書館全体が活性化するように、ネットワークづくりに努めています。

雲南市立木次図書館 「桜に囲まれたアットホームな図書館」

「日本さくら名所100選」に選ばれた、全長約2kmの斐伊川堤防桜並木。そのすぐ下を走る道路を進んで行くと見えてくるのが、雲南市立木次図書館です。広々と見渡せる館内は、両側の窓から入る柔らかな光に包まれ、温かな雰囲気です。春になると、図書館の周りでも5種類の桜が咲き誇り、窓から花見をしながら読書をすることもできます。花見の時期には多くの観光客が図書館にも立ち寄り、「いい図書館だね」と褒められるそうです。そんな桜が有名な場所だけあって、桜に関連した多くの本を所蔵し、コーナーを常設しています。



木次図書館は、子どもの本やイベントに力を入れています。平成16年に増設された児童室の奥には、広い空間があります。普段は子どもたちが絨毯の上に寝転がって本を読んでいます。毎週木曜日の「よみかたりのじかん」には、パネルで囲まれた「お話の部屋」になるのです。児童書の割合も多く、絵本・紙芝居や文学以外の本は児童室に入りきらず、一般閲覧室の一角に収められています。子どものイベントで人気なのは、「おはなしレストラン」^(※1)です。平成12年に地元の方がおはなしレストランシェフとなって始めたものです。毎年夏と冬に開催しており、昨年12月に36回目を迎えました。メニューはパネルシアターやストーリーテリングなど盛りだくさんで、多い時には100人を超す参加があります。

また、地域への支援にも取り組んでいます。昨年度から木次・大東・加茂の雲南市立図書館3館合同で交流センターに出向き、センター職員やボランティア向けに、本の修理やブックコーティングの講習会を行っています。幼稚園や保育所に、出張読み聞かせにも行きます。子どもたちは、先生とは違う人の読み聞かせや大型絵本に大喜びです。

雲南市立図書館(3館)では、地域の人はもちろん、地域外の人にも雲南市立図書館のことを知ってもらいたいとの思いから、イベントや展示など様々な情報や活動の様子を、フェイスブックを使って発信しています。^(※2)

お金をかけなくても自分たちができることを考えて、取り組んでいるという木次図書館。職員の皆さんが温かく迎えてくれる、アットホームでゆったりと過ごせる図書館でした。

※1 島根県立大学短期大学部松江キャンパスの「おはなしレストラン」とは別のものです。

※2 フェイスブックアドレス: <https://www.facebook.com/kisukilib>

【雲南市立木次図書館】

開館時間: 10時～18時

休館日: 毎週月曜日、祝日、年末年始、月末整理日、特別整理期間

貸出冊数: 10冊まで



「おはなしレストラン」の様子

江津市図書館桜江分館 「利用者の読みたい気持ちに応える」

中国地方随一の江の川近く、桜江総合センター2階に桜江分館があります。耐震補強工事のため、約1年間川戸駅舎へ一時移転していましたが、平成29年7月から、もとの建物で装い新たに開館しました。

館内は明るくて見通しの良いワンフロアになっています。貸出の多い雑誌や小説等は玄関の近くにあり、次に大人向けの本、さらに奥へ進むと児童コーナーがあります。工事がきっかけとなり、より利用しやすいよう書架の配置を見直しました。

注目は新しくできた「いきいきシニアコーナー」です。高齢者が楽しめる脳活本や医療関連本、大活字本など、拡大読書器も置いて常時展示しています。高齢者だけではなく、若い人や介護職の人に関心を持って借りていけると伺いました。



館内中央にある新刊コーナー棚には、本館が所蔵する新刊本もあり、1カ月ごとに入れ替えて貸出を行っています。また、県立図書館から借受けた本も置いてあり、限られたスペースでも様々な本と出合えるよう気配りがなされていました。

蔵書に限りがあっても、利用者の読みたい気持ちに応えられるよう常に心掛けているとのこと。その気持ちが館内からもうかがえる図書館でした。

【江津市図書館桜江分館】

開館時間：10時～18時

休館日：毎週火曜日、年末年始、月末整理日、特別整理日

貸出冊数：5冊まで

大田市立温泉津図書館 「豊かな緑に囲まれた図書館」



温泉津図書館は国道9号線から近い温泉津コミュニティーセンター内にあります。周囲は山に囲まれており、緑豊かな場所です。すぐそばが山のため、図書館の窓を開けると長閑な虫の音が聞こえてきます。

蔵書冊数約1万3千冊のこじんまりとした図書館で、仁摩図書館の職員が交代で勤務しており、出入口のそばの貸出カウンターから、訪れた人を笑顔と挨拶で出迎えてくれます。館内に入ると優しいBGMが流れており、利用者がリラックスできるように配慮されていました。

館内には背の高い書架が連なっていますが、その圧迫感をやわらげるよう至るところに手作りの飾りがあります。毎月季節に合った飾りを付け替えているそうです。また、毎月ブックトラックを使った展示もしています。ちょっとした展示ですが、利用者が普段は選ばない本を手にとるきっかけになっています。

温泉津図書館では、町内の読書普及のため、定期的に児童クラブやまちづくりセンターへの配本を行っています。また、毎月第4土曜日にはボランティアと一緒にお話をしています。近くの保育園からも参加があり、手遊びや大型絵本など、園とは違う雰囲気でも聞くお話に夢中になって、普段は静かな建物内が子ども達の元気な声で賑やかになるそうです。

近くに行かれた際は、立ち寄ってみてはいかがでしょうか。



【大田市立温泉津図書館】

開館時間：10時～18時

休館日：毎週火曜・日曜日、祝日、年末年始、月末整理日、特別整理日

貸出冊数：10冊まで

2018年に建築50周年を迎えます

島根県立図書館は、2018年に建築50周年を迎えます。

建物は1968年に建てられ、設計者は日本を代表する建築家、菊竹清訓きくたけきよのり氏※です。

今もなお、全国から建築関係者や学生が見学に訪れています。

次号(209号)では、建築50周年を記念した図書館だより特別篇を予定しています。

※菊竹清訓(1928-2011)福岡県久留米市出身。主な作品は「スカイハウス(自邸)」、「東京都江戸東京博物館」など



県立図書館のメールマガジンを登録しませんか？

島根県立図書館では、毎月1回メールマガジンを配信しています。

図書館で開催中の展示情報、講演会やこどもおたのしみ会等のイベント、開館スケジュールなどの情報を一覧することができます。

配信は毎月25日頃、料金は無料です。ぜひご登録ください。

登録方法

- ①島根県立図書館ホームページ左下の  **メルマガ登録** をクリック!
(もしくは http://www.library.pref.shimane.lg.jp/?page_id=101 を入力してください。)
- ②登録画面へ移動して、ご自身のメールアドレスを入力後、送信ボタンを押してください。
- ③送信終了後、登録されたメールアドレスに仮登録メールが届きます。
- ④仮登録メールを確認し、メール内の指示に従って返信すると登録が完了します。

I N F O R M A T I O N

島根県立図書館 利用案内

- 開館時間／火 ～ 金 9時～19時(3月～10月)
9時～18時(11月～2月)
土日・祝日 9時～17時(通年)
 - 休館日／毎週月曜日(休日の時は開館)
第1木曜日、年末年始、特別整理休館
- ※詳しくは開館カレンダーをご覧ください。

〒690-0873 島根県松江市内中原町52
TEL. 0852-22-5733(図書) / 5725(事務)
FAX. 0852-22-5728
ホームページ <http://www.library.pref.shimane.lg.jp/>

人と人の縁結び 図書館だより は、本を読む愉しみを味わえるビジュアル情報誌です。
しまねの、本・人・図書館にまつわる話題をお届けします。
皆さんの「本のある暮らし」を応援します。

島根県立図書館報
図書館だより 第208号
平成30年3月23日発行
編集・発行／島根県立図書館



島根県立図書館イメージキャラクター
ぶつくまんとしおりちゃん